

～護身術を学ぶ～  
女性と女兒が身を守るための講演会 11/25(火)



ホテルグランフォーレで国際ソロプチミストイースト愛媛（井上百代会長）による講演会「女性と女兒が身を守るために出来ること」が開催されました。被害の現状や対処法などについての講演や護身術についての講義もあり、参加者は自分や子どもの身を守るための方法を学んでいました。

市内の3選手が世界スポーツチャンバラ選手権大会で入賞 11/28(金)



市長室で、第40回世界スポーツチャンバラ選手権大会での入賞報告会が行われました。同大会で、石川大雅くん（三島東中1年）が長剣フリー1～2級の部で優勝、河村直仁さん（仁武館代表）が盾長剣初段以上の部で3位入賞、また、井川啓貴さんが基本動作部門2段で3位入賞を果たしました。

～工事現場をのぞいてみよう！～  
川之江橋上部工事親子見学会 11/29(土)



国道11号の川之江橋上部工事親子見学会が行われました。見学会では、工事の概要説明の後、クレーンによる鋼桁の架設見学や橋の桁をつなぐ高力ボルトの締め付け体験などを行い、参加した川之江小学校の児童と保護者約40人は、貴重な体験を通して橋の構造や工程などについて学んでいました。

市内から3選手が全日本選抜少年野球大会に県代表として出場 11/21(金)



第36回全日本選抜少年野球交流大会に、県選抜チーム「愛媛クラブ」の選手として出場した、田野佑馬くん（中曽根小6年）、佐々木駿成くん（川之江小6年）、合田涼真くん（豊岡小6年）が市長を表敬訪問しました。愛媛クラブは、8月に行われた同大会で、準優勝という成績を収めました。

～さまざまな文化や芸術活動が一堂に！～  
ふれあい・あ～とフェスタ 11/22・23



土居文化会館ユーホールで、ふれあい・あ～とフェスタが開催されました。会場では、劇団サイケデリックマンモスによる演劇が上演されたほか、ハーモニカ演奏やコーラス、日本舞踊などが披露され、訪れた多くの観客は、さまざまな文化芸術の魅力に引き込まれていました。

～地域と共に歩む～  
豊寿園開設30周年記念式典 11/23(日)



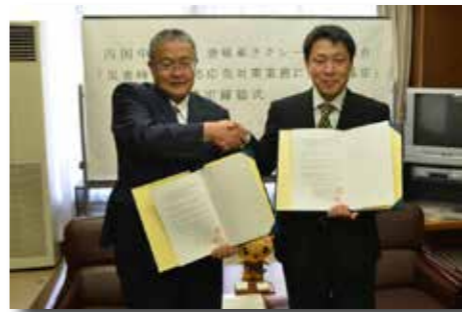
土居町の豊寿園で、開設30周年記念式典が行われました。豊寿園とひうち荘は昭和59年に開設し、これまで多くの地域ボランティアの方々に支えられてきました。式典では「豊寿園・ひうち荘30年のあゆみ」が上映された後、施設の運営に貢献された方々に感謝状と記念品が渡されました。

JKJ0 全日本ジュニア空手道選手権大会に出場！ 11/19(水)



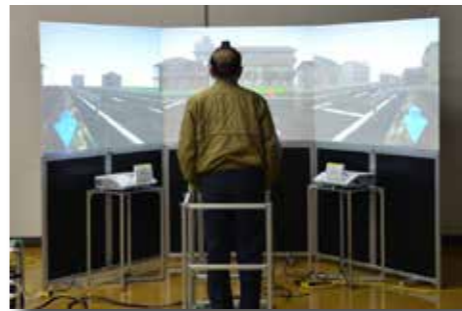
流心館（吉田健一代表）の今井琴梨さん（中曽根小学校6年）が、東京都で開催される第8回JKJ0全日本ジュニア空手道選手権大会への出場報告のため、市長を表敬訪問しました。今井さんは、8月に行われた四国地区代表選抜大会で優勝し、全国大会への出場権を獲得しました。

「災害時における応急対応業務に関する協定」調印式 11/19(水)



本市と愛媛東予クレーン協同組合（増田 忍理事長）が「災害時における応急対応業務に関する協定」を締結しました。これは、災害時の迅速な対応策に重機が多数必要となることが予想されることから、事前に応援体制を確立することで、公共施設や道路などの早期復旧を図ることを目的とするものです。

～高齢者の交通事故防止のために～  
高齢運転者交通安全教室 11/21(金)



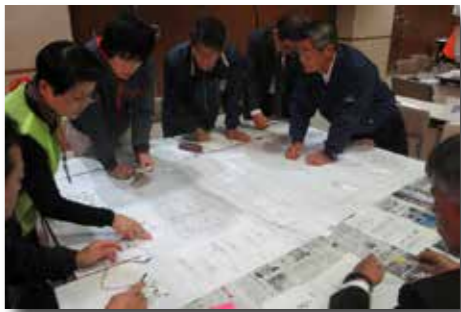
川之江町の宇摩自動車教習所で高齢者交通安全教室が開催されました。参加した35人は、高齢者の交通事故の実態について話を聞いた後、自動車を運転しての安全走行や横断歩道を疑似体験できる歩行環境シミュレータなどを体験し、交通事故に遭わないための注意点などを熱心に学んでいました。

陸上競技 110m 直線全天候型 2レーンが完成しました まちの話題



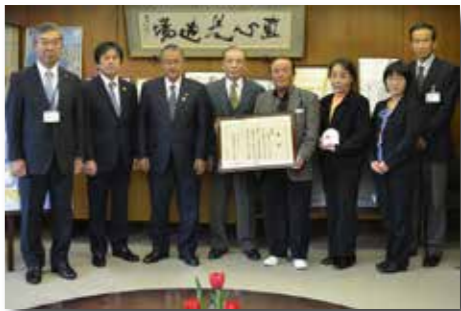
11月15日（土）、川之江町の浜公園多目的広場に陸上競技用の110m直線全天候型2レーンが完成した記念として、市内の陸上クラブなど、小・中・高校生およそ200人が参加して合同練習が行われました。参加した子どもたちは、100mの記録を計るなどして、完成したばかりの全天候型レーンを体感していました。

～避難所を安全に快適に運営できるか？～  
HUG 机上訓練を実施 11/17(月)



福祉会館で、燧灘防災会（大西 忍会長）による避難所机上運営訓練（HUG訓練）が行われました。訓練には同防災会をはじめ各学校、婦人会などから総勢151人が参加し、15グループに分かれて、続々と入ってくる情報や周囲の状況などを素早く把握し、避難者を割り振ったり、環境を整えたりしていました。

新宮あじさいグループが農林水産大臣賞を受賞 11/18(火)



新宮あじさいグループ（大西敬志郎会長）が、農林水産大臣賞を受賞したことを報告するため市長室を訪れました。これは、耕作放棄地を活用してあじさい園を整備したことや、茶の消費拡大のためのさまざまな取り組みなどの活動が「豊かなむらづくり」として表彰されたものです。

～平和への誓いを胸に～  
戦没者・公務殉職者追悼式

12/14(日)



福祉会館で四国中央市戦没者・公務殉職者追悼式が行われました。追悼式には遺族など約280人が参列し、戦争で犠牲になった方々と、殉職した警察官の冥福を祈って参列者全員で黙とうをささげ、平和への誓いを新たにしました。

交通安全母の会と土居中学校による交通安全啓発活動

12/8(月)



ハローズ土居店で四国中央市交通安全母の会（西川康子会長）と土居中学校による交通安全啓発活動が行われました。参加した生徒は、自分たちの手で心を込めて作った交通安全祈願のお守りなどの啓発用品を来店客に手渡し、交通安全を呼びかけました。

～みんなでお餅つき！～  
みしま児童センターもちつき大会

12/7(日)



みしま児童センターでもちつき大会が開催されました。これは毎年、地域の世代間の交流を図ろうと開いているもので、今年もお年寄りの方や子どもらが数多く参加しました。子どもたちは、自分たちで頑張った、つくたての柔らかいもちをほお張り、楽しい時間を過ごしていました。

～学校に行きたくない愛ちゃん～  
映画「さなぎ」上映会&トーク・交流会

11/30(日)



土居文化会館ユーホールで、映画「さなぎ～学校に行きたくない～」上映会&トーク・交流会が開催されました。この映画は、学校に行けなくなってしまった小学生の愛ちゃんと、その家族を静かにみつめたドキュメンタリー映画で、監督の三浦淳子さんの手によって14年間にわたり撮影されました。

～力強い演技を披露～  
書道パフォーマンス甲子園をPR

12/14(日)



徳島市の徳島駅クレメントプラザで、書道パフォーマンス甲子園のPRイベントが行われました。会場では、第7回大会で優勝した三島高校書道部と、書道パフォーマンスを通じた地域交流などに積極的に取り組んでいる鳴門高校書道部が、多くの観客の前で演技を披露しました。

～倉庫の壁にみきゃんたちが登場！～  
えひめ国体啓発壁画が完成

12/8(月)



寒川漁業協働組合（井原治明組合長）の西側倉庫前で、愛顔つなぐえひめ国体啓発壁画完成式典が行われました。この壁画は、構想から拡大作業に至るまで、三島南中学校美術部の生徒が中心となって完成させたもので、構想に1年、制作に2か月をかけて、倉庫の壁に描かれました。

～懸命にたすきをつなぐ～  
第11回市駅伝競走大会

12/7(日)



浜公園周辺で市駅伝競走大会が行われました。11回目となる今回は、一般男子、中学生男・女、PTA男・女、高校生を除く一般男子、一般女子の7部門に、92チーム約700人が参加しました。時折冷たい風が吹く中、ランナーは沿道からの温かい声援を力に変え、最後まで力強く走り抜けていました。

～郷土の先哲の遺徳を顕彰するために～  
尾藤二洲没後201年祭

12/4(木)



川之江町の城山公園で尾藤二洲没後201年祭が行われました。あいにくの雨ではありましたが、頌徳の歌や詩吟が披露され、碑文の解説も行われました。その後、会場を川之江文化センターにある二洲関連の常設展示場に移し、学芸員による資料解説が行われ、参加者は郷土が誇る先哲をしのいでいました。

～笑いで免疫力を高めよう～  
うま！こころの健康寄席

12/7(日)



土居文化会館ユーホールで、「うま！こころの健康寄席」が開催されました。会場では、芸乃虎や志さん（豊岡台病院長の枝廣篤昌さん）らによる落語が披露されたほか、笑いヨガも紹介され、訪れた観客は、時折大きな笑い声をあげながら落語の世界を堪能していました。

～明るく住みよいまちを目指して～  
暴力団排除コミュニティ協議会総会

12/4(木)



中之庄公民館で、市暴力団排除コミュニティ協議会総会が行われました。総会では、愛媛県暴力追放推進センターの稲葉省三さんと四国中央警察署刑事課長の矢野大介さんによる講演があり、出席者は、社会全体での暴力団排除の推進に向け、対策方法や暴力団の現状などについて理解を深めました。

市長の  
ひとりごと



四国中央市長  
篠原 実  
テーマ  
婆さまたちと私

昨年の11月、快晴のお天気の日、ある公民館で公民館まつりが開催されていた。ちよと、お昼時であったので、バザーのおうどんを食べようとしたが、座席がほとんど埋まっていた。4人の婆さまがいるテーブルに相席させてもらった。

女性に歳を聞くのは失礼だろうから、「4人足してなんぼになるん!？」と尋ねた。350歳くらいかなと想像して言ってみたら、なんと90歳を超える人が2人いて、そこからにぎやかな婆さまたちの会話になった。

「市長さんと、こんなに近くで話ができ、今日はいいい日になったわいな!～」と言われ、「もう姉さんら、世の中怖いもんならう?」と尋ねたら、「そんなことあるもんかいな!怖いもんいっぱいあるよ!」との返事が返ってきた。

「それ嫁のことな?」と茶化すと、ふうと笑って、「内緒!」とかわされてしまった。

「みんな元気であってよ!寝込んだら、家族みんなが大変じゃきな!」と言つと、その時は一瞬真面目にみんなうなずいてくれた。

元気で長生きは、みんなの望みである。でも、人生そうはいかなくなってくる。ちよとした話のなかにも、年輪を感じさせてくれる。名前を尋ねると、記憶が間違っていないかったら、「尾崎秀子さん」、「猪川セツ子さん」、「猪川君子さん」、「荻田シゲ子さん」の4人であった。

みなさん、いつまでもお元気で!